巻頭特集

遠藤太貴さん

ちかくにある、この動物園には、愛がある

五月山動物園

パンチ

オークン

小規模ながら、ウォンバットやワラビー、エミューなど、オーストラリアの固有種といわれる希少な動物に出会える『池田市立五月山動物園』。“世界一♡のある動物園”には飼育員さんの愛情、そして池田市民の思い出……、たくさんの温もりが溢れている。

自然教育の一環として誕生！五月山の麓にある無料動物園

ずんぐりとしたお尻をぷりぷりさせて歩く姿が愛嬌のあるウォンバット、大きな瞳で茶目っ気たっぷりのアルパカ、人間じみた仕草が興味深いワラビーなど、現在13種71頭の愛くるしい動物たちが迎えてくれる『池田市立五月山動物園』。1957年、自然学習や情操教育の一環として宮城県牡鹿郡金華山からニホンジカなどの動物を移入したのが同園の興りだ。ここの歴史を語る上で外せないのがオーストラリアのローンセストン市との交流。1967年に姉妹都市提携を記念してベネットワラビーが贈られた。1990年には市のイメージキャラクター「ふくまるくん」のモデルとなったウォンバットが寄贈される。当時来園したウォンバットのワインとワンダーは1992年に国内初の繁殖に成功した功績の持ち主。娘のサツキとサクラは先立ってしまったが、園内のギャラリー『アップルアイランド』に剥製が展示されている。

飼育員さんの手厚いケアと来園者の眼差しに包まれて

飼育員さんの1日は動物の健康チェックから始まる。糞の状態、嘔吐物はないか、呼吸は正常かなど、言葉がない分、外見や触診で丁寧に確認する。なかでもウォンバットのワインとワンダーは高齢（国内最高齢の27歳）のため温度管理や衛生面、動物特有の病気など、その健康管理には特に配慮が必要だ。

「ワンダーは冬場に痩せてしまい心配でしたが、餌を工夫すると食欲が戻り、ふっくらとしてきたので少し安心しています」とほっとした様子の担当の遠藤さん。日々、命と向き合う責任の重みはあるが、昨日よりも懐いてくれたり、元気になってくれたりすると嬉しく、それがやりがいでもあるという。その後、朝の給餌や掃除をしながら9時15分に開園を迎える。平日にも関わらず、ぞくぞくと来園者がやってくる。リピーターも多く「最近痩せたんちゃう？」など、動物の様子を気遣ってくれる方もいるそうだ。陽が高くなると動物たちは日陰に隠れてしまうため、動いている様子を見たければ、午前中または閉園間際の来園がおすすめだ。

前田崇一郎さん

中川拓哉さん

辻 泰枝さん

山本花菜さん

ドキドキ緊張…

うさちゃんに初タッチ♪

近くで見て、触れて。子どもの動物園デビューに

「敷地が狭いことを利用してふれあいに特化した作りにしよう」の想いのもと、園内には至る所に動物と触れ合える工夫がある。アルパカやヒツジ、ポニーのエリアは柵が低く、息づかいやぬくもりを肌で感じることができる。動物も人慣れしているのか、こちらが見ていると、物欲しそうに自然と顔を寄せてきた。毎日2回（11時～12時30分、13時40分～15時）開催される「ふれあい広場」は、ウサギやモルモットなどの小動物を撫でたりもできるため、子どもに人気のイベントだ。土曜、日曜にはポニーの乗馬体験もある。「回数を重ねるごとに乗馬が上手くなる子もいて、子どもが得意げな顔をしたり、笑顔になってくれると嬉しいですね」と話す前田さん。動物を介しての地域との交流があるのだと、温かい気持ちになった。

「ここは優しい動物ばかり、怖い動物もいないため小さい子を初めて連れてくるのにぴったりの動物園です。無料ですし、散歩や自然遊びと合わせて気軽に利用できます」と園長の清水さん。副園長の瀬島さんは「動物をよく観察すると、美味しそうな顔をしたり、表情もいろいろ変わって可愛いですよ」と、飼育員ならではの情報も教えてくれた。

同園の目下の課題は、ウォンバットのフクのお嫁さん探し。現在、国内の動物園では3園6頭のウォンバットが飼育されるのみ。フクに繁殖の期待が寄せられている。フクの故郷、オーストラリアのタスマニア島からパートナーを迎えるべく、アイドルユニット『Keeper Girls』によるPR活動など、あらゆる策を講じている。プレッシャーもあるだろうが、良いご縁がある日を心待ちにしたい。

初めてのアルパカにビックリ！

池田市立五月山動物園

時間：午前9時15分～午後4時45分
休園日：火曜日（祝日の場合は翌日休）
入園料：無料（乗馬体験や餌は有料）

ヤギ
角を突き合わせたり飛び乗ったり活発で芸達者！4頭の中でも、コノハ（表紙の白ヤギ）は食いしん坊で体重管理が大変…

背中にも立てちゃう！

ツムギ

エミュー
時々あくびをするため口の中がよく見える。メスは「ドンドン」とドラムを叩くような鳴き声、オスは「グーグー」と鳴く。夏はホースの水に大喜び！

いててて…

かっこいい足の形！

ウォンバット
穴を掘る習性があるためか、後ろ足が内股でキュート。フクは縄張り意識が強く「チッチッ」と警戒音を出す

フクはつかまり立ちでお食事♪

ワイン

ワラビー
警戒心が強いため大声は出さないで。3月4日にママのお腹の袋から初めて赤ちゃんが顔を出した。

赤ちゃんがひょっこり♪

アルパカ
ラクダの仲間。上唇が切れており上の前歯がない。プリンは気難しいけれど活発な女の子♪

おしりにハート♡を発見！

プリン

ポニー
走ったり砂浴びしたりして遊ぶことや、おやつタイムの人参が大好き。ロッキーは若くて元気！

ロッキー

＼ようこそ『五月山動物園』へ！／

五月山動物園 副園長 瀬島幸三さん

五月山動物園 園長 清水敏さん

文／白井葉月　デザイン／小林亜由　写真／Ayami